

対象年度	令和 6年度	総合計画実施計画策定及び行政評価シート
------	--------	----------------------------

事務事業名	中学校施設整備事業					予算事業名	中学校施設整備事業費				
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令			
			10	03	03	20	経常経費				
総合計画体系	未来を担う子どもと 生き生きとした市民を育む地域を目指そう 地域への愛着と誇り、「生きる力」を育む教育環境づくり 安心して学べる学校づくりの推進						事業の区分	主要事業			
							担当課係等	学校教育課 施設係			
事業期間	継続 (令和 4年度～ 年度)										

【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】 生徒が安全で快適に学ぶことができる教育環境の整備を図る。 教職員が児童を指導するうえで、良好な環境を整備する。	【事業開始のきっかけや他市の状況など】
--	---------------------

【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】 ○改修工事 ・大規模改造 (校舎、体育館) ・体育館及び武道場改修 (LED化等) ・外トイレ改修 (老朽化による建物及び和便器を洋便器化へ改修) ・防火及び消防設備防犯設備 (耐用年数を考慮し順次改修) ・高架水槽及び受水槽改修 (経年劣化部を順次改修) ・グラウンド及び外構、フェンス改修 (経年劣化部を順次改修)	【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】 生徒及び教職員 【事業をとりまく環境の変化】 学校からの要望件数が校舎の老朽化とともに年々増加し、教育環境の改善が求められている。 老朽化の進行が進んでおり、部分的な改修ではなく、全体的な大規模改造を実施しなければ改善されない状態となっている。
---	--

【令和 6年度 事業内容】	【令和 7年度 事業内容】	【令和 8年度 事業内容】
<ul style="list-style-type: none"> ・結城南中学校 防災機能強化改修 ・結城中学校 武道場LED化 ・結城中学校 美術室エアコン設置 ・防火設備 消防設備、防犯設備 ・グラウンド及び外構、フェンス改修 	<ul style="list-style-type: none"> ・防火設備 消防設備、防犯設備 ・グラウンド及び外構、フェンス改修 ・高架水槽 受水槽改修 	<ul style="list-style-type: none"> ・結城中学校 体育館長寿命化実施設計 ・結城南中学校 体育館LED化 ・防火設備 消防設備、防犯設備 ・グラウンド及び外構、フェンス改修 ・高架水槽 受水槽改修

■事業費

		R04年度	R05年度			
財源内訳	国庫支出金	0	2,273			
	県支出金	0	0			
	地方債	38,400	53,700			
	その他	0	0			
	一般財源	14,840	20,299			
歳入計 (千円)		53,240	76,272			
歳出内訳	節 (番号 + 名称)	金額 (千円)	金額 (千円)			
	12 委託料	1,815	6,729			
	14 工事請負費	51,425	69,543			
歳出計 (千円) (A)		53,240	76,272			
伸び率 (%)			43.26			

考	結城市は近隣自治体を実施している大規模改造や長寿命化工事を一切実施していないため、内装材及び給排水等の老朽化が進行しており、早急な対策を講じたいと思われる。
---	--

令和 4年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R04年度	R05年度	R06年度
活動 指標	駐輪場改築工事	校	目標	1.00	1.00	0.00
	現在とは別部に駐輪場を建設し、現駐輪場の解体撤去後に碎石敷き駐車場		実績	1.00	0.00	0.00
	体育館改修		目標	0.00	0.00	1.00
	経年劣化による屋根、床等の改修及びLED照明器具への改修		実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	教育環境整備のため必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政以外では実施していない事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	現在の手法が一般的である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	施設の老朽化が進むにつれ、一件の工事規模が大きくなる傾向にあり、工事に係る準備や設計、学校側との連絡調整に人員や時間を要する。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	改善要求及び必要のある施設について対応はできている。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	緊急性・重要性の高い案件を優先的に整備し、一定の効果は得られている。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	突発的な改修及び社会情勢に合わせた整備、事業費の増加により見直しが必要である。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
緊急対応工事は実施できる状態であるが、計画通り事業は進んでいないのが現状である。交付金等を最大限活用し事業を進めるようにすると共に、財政部局等と計画通りの事業実現にむけ協議を進める。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
学校施設個別施設計画に基づき、計画の見直しをするとともに事業の平準化を図っていく。			

■方向性

<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置 </p> <p>方向性の具体的内容 いずれの中学校も老朽化が進み大規模な改修が必要な状況である。可能な限り個別施設計画に基づく整備が行えるよう予算や財源の確保に努める。</p>
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p> <input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置 </p> <p>企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 財政状況と可能な限り調和を図りながら進める。</p>